

3/24 奨学生の未来に期待

小野久奨学資金会卒業式・支給証書授与式



阿蘇中央高校に入学が決まった川嶋さん(左)と佐田さん(右)

(一財)小野久奨学資金会奨学生の卒業式と新たな奨学生の支給証書授与式が一の宮保健センターで行われました。

同資金会は、故小野久氏(小野田町)が子どもたちの育英資金として5千万円を寄付し創設。昭和45年から合計459人の奨学生を輩出してきました。

ことしは、九州学院高校の西口俊輔さん(西1区)と熊本高校の松村万侑さん(西小園)が卒業。佐田美羽音さん(分3区)と川嶋宥喜(中道)さんが、阿蘇中央高校に入学し、それぞれ新たなスタートを切りました。

3/17 青少年教育の振興に功績

薄井良文さんが文部科学大臣表彰



青少年交流の家研修指導員の薄井さん(右)

社会教育の振興に尽力したとして、2月14日に文部科学大臣から表彰を受けた薄井良文さん(下役大原)が、佐藤市長に受賞を報告しました。

薄井さんは、阿蘇広域消防本部の消防職員として活躍する傍ら、昭和61年に国立阿蘇青少年交流の家(当時は青年の家)の研修指導員に就任。以後、30年以上の長期にわたり、登山やキャンプなど子どもたちに野外活動全般の指導や助言を行ってきました。

青少年教育振興の功績が評価され今回の表彰となりました。

4/1 阿蘇市を守る有志たち

阿蘇市消防団辞令交付式



新入団員を代表して宣誓する佐藤さん

阿蘇市消防団辞令交付式が市役所で行われ、新たに第4分団長に就任した山城登紀頼さん(古城6区)をはじめとする昇格者と新入団員の代表にそれぞれ辞令が交付されました。

本年度は、新たに35人が入団。そのうち女性消防団として3人が入団しました。新入団員を代表して佐藤のぞみさん(南黒川)が辞令を受け取りました。

阿蘇市消防団は、地域の安心安全を守るための総勢740人体制で日々尽力しています。

入団を希望する人は、政策防災課防災交通係 ☎22・323222 にお問い合わせください。

4/2 選挙の公正な執行に功績

佐藤照司さんが総務大臣感謝状



市選挙管理委員長の佐藤さん(右)

選挙の公正かつ、適正な執行に尽力したとして、1月21日に総務大臣から感謝状を贈呈された佐藤照司さん(赤仁田)が、佐藤市長に受賞を報告しました。

佐藤さんは、平成21年に阿蘇市選挙管理委員会委員に就任。平成25年以降は、同委員長として、現在に至るまで10年以上の長期にわたり、選挙の管理・執行及び啓発に大きく貢献されています。

佐藤さんは「わずかでも地域社会に恩返しができたと思う」と気持ち語りました。



4/14 地域の防災拠点に期待

YMCA 尾ヶ石保育園に防災倉庫設置



防災倉庫と園児たち

YMCA 尾ヶ石保育園が防災倉庫を設置し、開所式を行いました。

防災倉庫は、九州北部豪雨、熊本地震の経験から地域の防災の拠点として設置されたものです。防災倉庫には、現時点でチェーンソーやヘルメット、高圧洗浄機などが保管されており、今後は、非常食や簡易トイレ、燃料等も備蓄していく予定とのことです。久保園長は「この防災倉庫が地域の防災力をつけるきっかけとなればいい。人がここに集まり、地域の防災拠点となることを期待している」とコメントしました。

4/16 熊本地震の犠牲者追悼

熊本地震から丸4年



哀悼の言葉を述べる佐藤市長

熊本地震の本震から丸4年となる4月16日に市役所で追悼行事が行われ、防災行政無線のサイレンに合わせて市内全域で被災者への黙とうが行われました。

黙とう後には、佐藤市長が「市民の皆さまと心を一つに、防災、減災、危機管理に全力で取り組み、安心・安全な市をつくっていく」とあいさつし、「ご遺族や被災された人たちの平安を祈念しました。」

今年度は、国道57号（現道）と北側復旧ルート、JR豊肥本線、阿蘇大橋の全線開通の見込みです。

4/13 感謝と追悼の碑

熊阿・松本 JV が福岡区に寄贈



熊阿・松本 JV の工事関係者（左）と区長ら地元住民（右）。

熊阿・松本 JV（共同企業体）が平成24年の九州北部豪雨災害の犠牲者を追悼し、福岡区に石碑を寄贈しました。

福岡区の住民により、豪雨災害を後世に残すべく石碑の建立が計画されていたところ、熊阿・松本 JV からの申し出により寄贈されることになったものです。

熊阿・松本 JV は、同区内で昨年から行われている砂防ダムの建設工事を請け負っています。砂防ダムは、県の復興事業として計画され、完成までには数年かかる見通しです。

3/29 周辺住民の不便を解消

小里新橋が完成、開通式が行われる。



地元住民約30人が渡り初め。開通を祝いました。

平成24年7月の九州北部豪雨で氾濫した宮原川に架かる小里新橋が新しく架け替えられ、地元6地区の行政区主催による開通式が行われました。

同橋は、県の河川改修による拡幅や堤防かさ上げのため平成30年1月から工事が進められてきたもので、約2年2カ月ぶりに通行止めが解除されました。

小島良邦区長（西小園）は、「迂回していた周辺住民の不便が解消され、災害時には避難道路にもなる。安心・安全な暮らしにつながる」と喜びを語りました。